# 令和3年度 浦添市 ICT エバンジェリスト実践事例集



浦添市立教育研究所

### 「浦添市ICTエバンジェリスト」設置要項

令和2年 4月 1日 浦添市立教育研究所

#### 1 設置者

浦添市立教育研究所

#### 2 設置目的

浦添市にICT教育を普及させることを目的として、「浦添市ICTエバンジェリスト」を任命し、積極的にタブレット端末等を活用して頂き、浦添市情報教育の推進を図る。

#### 3 選定方法

上記目的を実現可能な教諭を、学校長より別紙様式にて推薦して頂き、教育研究所へ提出する。教育研究所で審議後、推薦者を任命する。

#### 4 仟期

任期は1年とし、再任は妨げない。

#### 5 活動内容

- (1) 所属校で、積極的にタブレット端末等を活用した授業を実践する。
- (2) 校内で、タブレット端末等を活用した授業アイデアを職員へ提供する。
- (3) 教育研究所主催のエバンジェリスト研修会に可能な限り参加し、エバンジェリスト間で情報交換やICT機器活用の最新情報の収集等を行う。
- (4) 年に数回公開授業を行う(指導案の有無は問わない)。
- (5) 他校のタブレット端末等を活用した授業を可能な限り参観する。
- (6) ICT活用実践事例(A4様式)を作成し、提出する。
- (7) 研修会や発表会等で、実践事例を可能な限り発表する。

#### 6 特典

- (1) 他校のタブレット端末等を活用した授業を参観したり、エバンジェリスト間での情報 交換及びICT機器活用の最新情報に触れることができる。
- (2) 個人用iPadを校内ネットワークに接続することができる。
- (3) 申し出に応じて、研究所用iPad miniやAppleTV、ライトニングデジタルAVアダプタ、電子黒板機能付きプロジェクタを一定期間借用できる。

#### 7 活動期間

平成28年5月より活動を開始する。

※ 令和2年 4月一部内容改訂

年間活動実績
_
K
$\overline{}$
Н
ý
浦添市ICTエバンツ
無然出
令和3年度

No.	K.	日にち	聖	場所		和
П	推薦依頼	4月6日			各学校へ令和3年度浦添市ICTエバンジ	パンジェリストの推薦依頼文を送付
2	決定通知の送付	4月30日			学校長より推薦のあった市内小中学校2	学校25名に決定通知を送付(5/11に1名追加 計26名)
3	第1回研修会(発足式)	5月14日	$15:00\sim16:45$	教育研究所 研修室	委嘱状の交付、自己紹介、趣旨説明、	明、演習「ロイロノートの活用方法」講師 杉山竜太郎氏(Loiro)
4	エバンジェリスト公開授業①	5月14日	9:35~10:20	前田小学校 特別支援教室	石川肇教諭 生活科	ト Viscuit(ビスケット)を活用したプログラミング学習
2	エバンジェリスト公開授業②	5月25日	8:40~10:20	前田小学校 2年2組	石川肇教諭・屋比久恵吏教諭 図工	図工の作品を使用したViscuitによるプログラミング学習
9	第2回研修会	6月16日	15:00~16:30	各所属校 (オンライン研修)	伝達講習「GIGAスクール構想をい	ール構想をいかに駆動させるか」、グループ討議「ICTを活用した授業づくり」
7	エバンジェリスト公開授業③	7月27日	11:55~12:45	仲西中学校 1年9組	沖本群太教諭 総合	Formsでのアンケート、クラスルームによる端末管理
∞	エバンジェリスト公開授業④	1月6日	14:00~14:45	浦城小学校 6年2組	新城希葉衣教諭    国語	クラスルームによる端末管理、スクールワークによるkeynoteの共同編集
6	第3回研修会①	8月5日	$9:00{\sim}11:00$	教育研究所 研修室	授業支援アプリ活用講座(クラスル・	ルーム) 兼夏期講座 エバンジェリスト15名参加
10	第3回研修会②	8月6日	9:00~11:00	教育研究所 研修室	1人1台端末を活用した授業づく	くり講座 兼夏期講座 エバンジェリスト10名参加
11	エバンジェリスト公開授業⑤	9月22日	$9:30\sim10:45$	神森小学校 特別支援教室	渡口政尚教諭 自立	ロイロノートの活用(自作の献立作成シート)
12	エバンジェリスト公開授業⑥	9月22日	14:00~14:45	浦城小学校 6年4組	下地智徳教諭 社会	ロイロノートによる意見の共有、クラスルームを用いた授業の効率化
13	第4回研修会	10月27日	$15:30\sim16:45$	教育研究所 研修室	演習「ロイロノートの活用(中級編)	編)」講師 遊谷洋平氏(Loilo)
14	エバンジェリスト公開授業⑦	11月5日	$9:20\sim10:05$	港川小学校 3年2組	下地勝大教諭特活	ロイロノートの活用(アンケート、意見の共有)
15	エバンジェリスト公開授業®	11月19日	11:15~12:00	浦城小学校 1年4組	城間さやか教諭 算数	ロイロノートの活用(低学年での活用、動画撮影と共有)
16	エバンジェリスト公開授業®	11月24日	13:35~14:20	宮城小学校 4年2組	崎村祐太教諭国語	ロイロノートの活用(写真への書き込み、共有)
17	エバンジェリスト公開授業⑩	12月3日	13:35~14:20	宮城小学校 3年2組	川村和幸教諭 算数	ロイロノーの活用(動画への書き込み)
18	エバンジェリスト公開授業⑪	12月3日	$14:30\sim15:15$	当山小学校 体育館 (3年)	大城康一教諭	ロイロノートの活用(自作の作戦ポードによる作戦タイム)
19	エバンジェリスト公開授業®	12月6日	$9:50\sim10:40$	浦添中学校 理科室 (1年)	嶺井政仁教諭 理科	実験の写真・映像の活用、ロイロノートによる結果の共有
20	研究協力員(兼エバンジェリスト)公開授業	12月8日	$9:50\sim10:40$	神森中学校 理科室 (2年)	南 武志教諭 理科	Numbersとロイロノートを活用した実験結果のまとめ
21	エバンジェリスト公開授業®	12月9日	$10:30{\sim}11:15$	沢岻小学校 理科室 (5年)	知念誠教諭理科	TeamsとExcelを活用した実験結果の共同編集
22	エバンジェリスト公開授業⑭	12月14日	$10:30{\sim}11:15$	沢岻小学校 特別支援教室	比嘉良樹教諭     国語	ロイロノートの活用(胶体不自由児童の国語学習)
23	エバンジェリスト公開授業⑥	12月15日	$11:15\sim12:00$	浦添小学校 4年3組	野原彩綾教諭特活	ロイロノートの活用(アンケート、動画配信、考えの共有)
24	第5回研修会	1月18日	$15:30{\sim}16:45$	各所属校 (オンライン研修)	実践事例紹介(前田小 石川教諭、	当山小 大城教諭、神森小 渡口教諭、神森中 南教諭)
25	エバンジェリスト授業(公開なし)	2月4日	8:35~9:20	牧港小学校 6年3組	山城有司教諭 算数	ロイロノートの活用(シンキングツールの活用)

训
UIT SAF
ᄪ
画
炽
霊
年間活動実績
44
_
K
=
ᇧ
4)
γ
"
Ĥ
끋
ပ
Ē
浦添市ICTエバンジェリスト
烧
無
ΉΚ
11
44
က
문
令和3年度

No.	~ ~	日にち	晶 斜	場所		概 要
26	26 エバンジェリスト授業 (公開なし)	2月4日	10:30~11:15 前田小学校	前田小学校 特別支援教室	石川肇教諭 生	生活科 Viscuit(ピスケット)を活用したプログラミング学習
27	27 エバンジェリスト授業 (公開なし)	2月15日	9:20~10:05	浦城小学校 3年1組	後真地祐太教諭理科	4 ロイロノートの活用(実験の予想と結果のまとめ)
28	28 エバンジェリスト公開授業⑩	2月28日	9:50~10:40	神森中学校 美術教室 (2年)	宫城尚久教諭       美術	5 ロイロノートを活用した絵画鑑賞のまとめ
29	29 エバンジェリスト授業 (公開なし)	3月7日	13:45~14:30 港川小学校	港川小学校 5年4組	名城智美教諭国語	吾 ロイロノートの活用(「生徒間通信」機能を活用した交流活動)
30	30 エバンジェリスト授業 (公開なし)	3月10日	$13:15\sim14:00$	宮城小学校 6年2組	長賀千乃教諭特活	舌 ロイロノートの活用(事前アンケートと考えの共有)
31	31 第6回研修会	3月2日	15:30~16:45	教育研究所 研修室	令和3年度のふり返り、グル-	令和3年度のふり返り、グループ討議「ICTを効果的に授業活用するために」
32	32 エバンジェリスト実践事例集の提出	3月16日			今年度の実践事例を集め、実践	実践事例集として周知する。

### 浦添市ICTエバンジェリストの趣旨

- •積極的にタブレット端末(iPad)を活用して頂き、情報教育の推進を図る。
- •活用例を他校に広げるとともに、情報教育の推進を図る。

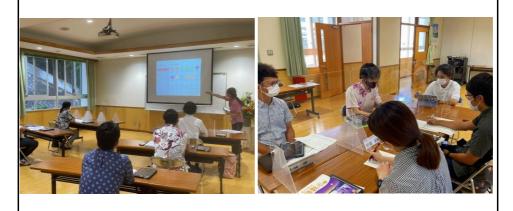
# 令和3年度を振り返って



5/14 発足式および第1回研修会 ロイロノート活用講習(初級) (Loilo 杉山氏)



## 令和3年度を振り返って



8/5, 6 第3回研修会(兼夏期情報研修会) 「ClassRoom活用」「一人1台端末活用授業づくり」

# 令和3年度を振り返って





10/27 第4回研修会 「ロイロノート活用講習(中級) (Loilo 渋谷氏)

# 令和3年度を振り返って





1/18 第5回研修会(オンライン) エバンジェリスト実践報告

 11/5 港川小 下地勝大先生
 12/14 沢岻小 比嘉良樹先生

 4年 特活
 特支 国語



ロイロノートの活用 アンケート・意見の共有



ロイロノートの活用 肢体不自由児童の国語学習

### エバンジェリスト公開授業

 12/3
 宮城小
 川村和幸先生
 11/24
 宮城小
 崎村祐太先生

 3年
 算数
 4年
 国語



ロイロノートの活用 動画への書き込み



写真(友達のノート)への 書き込み・共有

11/19浦城小 城間さやか先生 12/15 浦添小 野原彩綾先生 1年 算数 4年 特活



ロイロノート 低学年での活用



ロイロノート(アンケート 動画配信・考えの共有)

### エバンジェリスト公開授業

5年 国語

3/7 港川小 名城智美先生 3/10 宮城小 長賀千乃先生 4年 特活



ロイロノートの活用



ロイロノートの活用 (生徒間通信を活用した交流) (事前アンケート・考えの共有)

2/4 牧港小 山城侑司先生 2/15 浦城小 後眞地祐太先生 6年 算数 3年 理科



ロイロノートの活用



ロイロノートの活用 シンキングツールの活用 実験の予想と結果のまとめ

# \_\_\_ エバンジェリスト公開授業

12/3 当山小 大城康一先生 3年 体育

9/22 神森小 渡口政尚先生 特別支援 自立(食育)



ロイロノートの活用 自作の作戦ボードを活用



ロイロノートの活用 自作の献立作成シート

12/6浦添中嶺井政仁先生2/28神森中宮城尚久先生1年理科2年美術



実験の写真・映像の活用 ロイロノートで結果の共有



ロイロノートを活用した 絵画鑑賞

## エバンジェリスト公開授業

7/6 浦城小 新城希菜衣先生 6年 国語

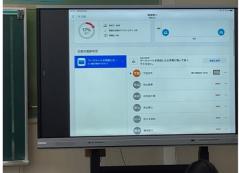




スクールワークを活用したKeynoteの共同編集

6/28 仲西中 沖本群太先生 1年 総合的な学習の時間





Formsでのアンケートとクラスルームによる生徒管理

# エバンジェリスト公開授業

9/22 浦城小 下地智徳先生 6年 社会





ロイロノートによる意見の共有と クラスルームを用いた授業の効率化

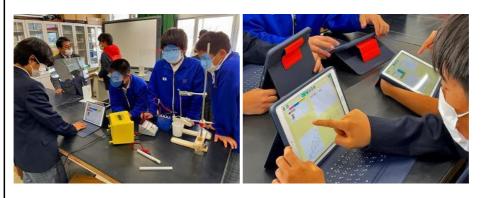
12/9 沢岻小 知念誠先生 5年 理科



TeamsとExcelを活用した実験結果の共同編集

# エバンジェリスト公開授業

12/8 神森中 南武志先生 2年 理科



Numbersとロイロノートを活用した実験結果のまとめ

5/14 5/25 2/4 前田小 石川 肇 先生 特別支援 生活単元 · 2年 図工





Viscuit(ビスケット)を活用したプログラミング教育

# 成果と課題

### 成果

- 1. 公開授業16回(+未公開3回)の実施
  - 2. 全6回のエバンジェリスト研修会を開催し、エバンジェリストのスキルアップを図った。
  - 3. 各学校でエバンジェリストがリードし、 情報教育を推進している。

### 課題

- 1. 公開授業への他校からの参加が少ない。
- 2. ICTエバンジェリストの活動や効果があまり見えないという意見もある。
- 3. 「まず活用する」事例から「効果的な活用」事例へ

学 校 名	宮城小学校	授業者	崎村 祐太		
対象学年	4年生	教 科 等	国語		
単 元 名		慣用句			
ICT環境	<ul><li>□電子黒板 ■iPad (</li><li>□実物投影機 ■デジタル教:</li><li>□デジタルコンテンツ (</li></ul>		AppleTV ごの他( )		
本時のめあて	国語辞典を作る人になったつもりで、慣用句の例文を作り、話し合おう。				
ICT機器の 活用場面	慣用句を使った例文を作り、ロイロノートを活用しての共有・話し合いを行う。				
指導の流れ	<ol> <li>慣用句クイズを通して、前時</li> <li>めあての確認 「国語辞典を作る人になった。</li> <li>慣用句の意味の確認をする。</li> <li>4 8つの慣用句から自分の使いだ</li> <li>お互いの考えを共有する。</li> <li>本時のまとめをする。</li> </ol>	つもりで、慣用句	の例文を作り、話し合おう。」 、例文を作る。		
指導上の 留意点	友達の例文を読み、良かった点・ 机間指導を通して、タブレットの				

学 校 名	浦添市立沢岻小学校	指導者	知念 誠		
対象学年	5年	教 科 等	国語		
単 元 名	タイピング大会				
ICT環境	□電子黒板 ■iPad(ロイロ □実物投影機 ロデジタル教 □デジタルコンテンツ(	科書	□AppleTV □その他( )		
本時のめあて	O自分のタイピング目標をクリアしよう。				
ICT機器の 活用場面	〇朝の学習時間や国語のちょっとした時間を活用して、ロイロノートでタイピング 大会をしました。				
指導の流れ	①国語の学習教材文を決めて、C ②時間設定をして、学級全体競れ		活用してタイピング大会を行った。 識が高まった。		
		The tax part leave place and	<ul><li>★タイピング大会を月に2回 設定し、1文字でも記録更新 を目指して楽しんで活動す ることができた。</li><li>★キーボー島アドベンチャー も活用してタイピングの向 上をはかりました。</li></ul>		
	を貼るのはやめなさいよ。」お母さん! あきれた顔でいうけど、あやまる気はい。先にあやまるのはお父さんの方だ。 はかに、一日三十分の約束を破って、 ないで、いきなりゲームをしていたのがないで、いきなりゲームをしていたのでしょ。今夜お父さんが帰ってきたら、でしょ。今夜お父さんが帰ってきたら、でしょ。今夜お父さんが帰ってきたら、でしょ。今夜お父さんが帰ってきたら、でしょ。今夜お父さんが帰ってきたら、でしょ。今夜お父さんが帰ってきたら、でしょ。今夜お父さんが帰ってきたら、でしょ。今夜お父さんが帰ってきたら、でしょ。今夜お父さんが帰ってきたら、でしょ。今夜お父さんが帰ってきたら、でしょ。今夜お父さんが帰ってきたら、でしょ。今夜お父さんが帰ってきたら、でしょ。今夜お父さんが帰ってきたら、でしょ。今夜お父さんが帰ってきたら、かられたのは	は言わない。言うもない。だから、絶対についいがげんに意かない。言うもない。目もない。言うもない。言うもない。言うもない。 安 安 大 安 た 字 分 を 文 イ 、数 自	ロノートの活用法★ ロノートを活用してタイピング すると、画面の右下にタイピング 字数が出てくるので、自分が何文 ピングしたかがすぐわかります。 提出箱で共有することで、友達の を確認してライバルを見つけて 身の目標を設定し意欲的に頑張 ができた。		
導上の 留意点	〇タイピング大会を行うときは、 OiPad を持ちかえした際は、家 つレベルアップさせることがで	(庭学習として教	標を設定してから行う。 枚材文をタイピングさせると少しず		

学 校 名	浦添市立 港川小学校	指導者	名城 智美
対象学年	5年	教 科 等	国語
単元名	雪の夜明け(国語 巻末教材)		
ICT環境	<ul><li>□電子黒板</li><li>□ iPad (</li><li>□ 実物投影機</li><li>□ デジタルコンテンツ (</li></ul>	科書	AppleTV その他( )
本時のめあて	「お気に入りの表現」として選ん	しだ表現は何か、	お互いに読み合い交流しよう。
ICT機器の 活用場面	・自分が「お気に入りの表現」と ・友だちの書いた表現を見て、原 書き込み送る。 ・友だちからもらった感想カート	<b>蒸じたこと・気</b> づ	いたことなどをテキストに
指導の流れ	1. 前時までのふり返り (選んだ表現を打ち込んだテキ	スト、表現を別の	のもので表したテキストの確認)
	<ol> <li>本時のめあての確認</li> <li>操作方法の確認を行う。</li> </ol>		
	4. ロイロノートを使って、自分 ードをグループで共有し、お		· · · ·
	5. 友だちからもらった感想カー まとめる。		OFFICE STATES OF THE STATES OF
	6. グループで選んだ表現の特徴 学級で共有する。		
指導上の 留意点	<ul><li>・グループで友だち同士テキストオンにする。</li><li>・操作方法に関して、適宜説明を (生徒間通信・X チャートへの</li></ul>	と加えながら進め	,, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,

学校名	浦添市立浦城小学校	授美	業 者	新城 希菜衣	
対象学年	6年	教和	斗 等	国語	
単 元 名	私たちにできること ~具体的な事実をもとに提	案する	文章を	<b>書</b> こう~	
ICT環境	<ul><li>☑電子黒板 ☑iPad (</li><li>□実物投影機 ☑デジタル教</li><li>□デジタルコンテンツ (</li></ul>	科書		ppleTV その他( )	
本時のめあて	・推敲した下書きもとに、清書を	をしよう。	)		
I C T機器の 活用場面	【導 入】教師:電子黒板(AppleTV,デジタル教科書)、iPad 【展 開】児童:iPad 【まとめ】教師:電子黒板(AppleTV,デジタル教科書)、iPad				
指導の流れ	<ul> <li>【導入】</li> <li>1,単元のめあてと本時のめあて</li> <li>めあて 推敲した下書きもる</li> <li>【展 開】</li> <li>2,Keynote で清書を行う。</li> <li>・あらかじめ、自分の名前を2</li> <li>・グループ全員の清書が終了し</li> </ul>	とに、清	書をしよ おいたシ	ートに清書をする	
Keynote の書式 右上に名前入力の欄を設けたことで、児童も教師も把握しやすい。             互いの進捗状況を確認しながら清書を行っていく。					
	【まとめ】 3,振り返りの視点を確認し、扱	長り返りる	を行う。		
指導上の 留意点	・編集方法で不明な点があった場 ・一時間以内で清書を終えるため	-			

学校名	沢岻小学校	授	業	者	比嘉良樹
対象学年	6年	教	科	等	国語
単元名	   情報と情	報とつ	なけ	で伝え	えるとき
ICT環境	<ul><li>□電子黒板</li></ul>	科書			••
本時のめあて	目的や意図に応じて、集めた材料を分 ことができる。 【思 B(I)ア】	う類した	:り関	係づけ	たりして、伝えたいことを明確にする
I CT機器の 活用場面	<ul> <li>○iPad→肢体不自由の児童が iPad のキーボード機能を活用して「書く活動」ができるようにするため。</li> <li>○ロイロノート→ロイロノートで作成したワークシートを送信したり、児童が書いたノートを回収したりするため。</li> <li>○デジタル教科書→児童へ提示するため。</li> <li>○大型テレビ→電子黒板の代用として使用。</li> </ul>				
指導の流れ	導入(10分) ①情報と情報をつなげるための四つ ②本時のめあてを確認する。 ③ロイロノートのワークシートを使って 展開(30分) ①課題 I を確認し、情報と情報をつる ②課題 2 で書いた文章をお互いに確認して書いた文章をお互いに確認して書いた文章をお互いに確⑥本時のまとめをする。 ふり返り(5分) ①ロイロノートのアンケート機能を使	て、なお認べ、ないでする報は、認する報	きくだ。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	の問題を 報 交 報 交	夏を解く。 する。(ロイロノートに記入する) なげて文章を書く活動をする。(ロ
指導上の 留意点	○課題に取り組む時間を十分に确○iPad の操作等に時間を取られた				

学 校 名	浦添市立内間小学校	授 業 者	世名城盛大
対象学年	情緒学級3・4・5年	教 科 等	国語
単 元 名	詩の工夫を楽しもう		
ICT環境	<ul><li>□電子黒板 ■iPad (</li><li>□実物投影機 □デジタル教:</li><li>□デジタルコンテンツ ( ロイロ )</li></ul>	科書	ppleTV の他( )
本時のめあて	詩を発表しよう		
I C T機器の 活用場面	・紙面で字の配置やイラストなとしてテレビに詩を表示しながら発		詩をロイロノートにデジタル化
指導の流れ	1、ワークシートで詩を作る ・字のサイズ、配置、色、イ	/ラストなども意	識して作る。
	<ul><li>・インターネットからイラス</li><li>3、詩を発表する</li><li>・詩の工夫を伝えながら発表</li><li>4、詩の工夫を楽しむ</li><li>・友達の詩を見たり聞いたり</li></ul>	<トをコピー・ペ きする	
指導上の 留意点	・操作に慣れさせるために日頃か ・特別支援学級は保管庫が無い かったり移動教室時の忘れや落了 上に手間がかかった。	ため、日頃からん	使用させるには、充電していな

34 44 A	14 77 - 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1- 1	1155 MR -47	T10 7074		
学校名	浦添市立浦城小学校	授業者	下地智徳		
対象学年	6年	教 科 等	社会科		
単元名	武士の政治が始まる 「元と	の戦い」			
ICT環境	<ul><li>✓電子黒板</li><li>✓iPad (ロイロノ</li><li>□実物投影機</li><li>✓デジタル教和</li><li>□デジタルコンテンツ (</li></ul>		11		
本時のめあて	元との戦いとその後の幕府と御家	【人の関係をとら	えることができる。		
I CT機器の 活用場面	ロイロノートによる操作活動と情 用することで授業の効率化を図る ・日本の武士と元の戦いの画像 ・元寇後の漫画の吹き出しを考	。 !を見てき付いた	ことを画像に直接入力。		
指導の流れ	1 問題把握 元軍と日本の武士との戦いの様子を見て、学習課題をつかむ。 ※写真資料を提示する際、はじめは武士の拡大から始まり、そのあと元軍をみ せることで児童の興味をひく。 C:日本の武士と格好が違う? 日本人じゃない? 2 めあて				
	元との戦いが幕府に与えた影響はなんだろう?  3 「蒙古襲来絵詞」から元軍と武士の戦いの様子を読み取る。				
	<ul><li>4 元寇後の幕府と御家人の関係を</li><li>5 まとめ</li><li>6 振り返り</li></ul>	を考える。	TRACT -		
指導上の 留意点	・クラスルームで児童の活動を確間指導によりアドバイスを行う ・御家人の考えを出すことが難し を電子黒板に写しだし、思考を共	いため、早めに			

学 校 名	浦城小学校	授 業 者	城間 さやか			
対象学年	第1学年	教 科 等	算数			
単 元 名		かたちづくり				
ICT環境	<ul><li>■電子黒板</li><li>■iPad (ロイ</li><li>□実物投影機</li><li>□デジタルコンテンツ (</li></ul>	科書	□AppleTV その他(    )			
本時のめあて	①図形の変化に着目して、色板を ②ペアで考えた色板の動きを動画 に気付く。		-			
I C T 機器の 活用場面	○問題の把握の場面で、電子黒板 移動後の図形を見せる。 ○ペアで話し合う場面で、ペアで 動画を撮る。					
指導の流れ	<ul><li>1問題を把握する。</li><li>2めあてを確認する。</li><li>3問題を確認する。</li><li>4全体で話し合う。</li></ul>		बँठव .			
	(もんだい) いろいたを1まいうごかたちをへんしんさせん 5ペアで話し合う。		まわす			
	<ul> <li>★まずは一人で考えて、ペアに伝える。</li> <li>★ペアで考えをまとめ、どのように色板を動かしたのか動画を撮る。</li> <li>★ロイロノートで提出・全体共有し、他のペアの発表を聞き、同じ考えや考え方の違いに気付く。</li> <li>6まとめ</li> <li>7振り返り</li> </ul>					
	7振り返り					
	多動する前の形を ペアで考えをまる の図形を見せる。 板を動かしたのか	とめ、どのように色 か動画を撮る。	他のペアの発表を聞き、同じ考えや考え方の違いに気付く。			
指導上の 留意点	<ul><li>○1年生は背が低いため、動画をたりして、上から撮影する必要</li><li>○動きを説明しながら、動画を扱い合かい合って撮るよりも、横立</li></ul>	要がある。 最影させる。				

学 校 名	浦添市立宮城小学校	授 業 者	川村 和幸	
対 象 学 年	第3学年	】 数 科 等	算数科	
w – <i>p</i>		[ → /z π/ .		
単元名		「三角形」		
ICT環境	■電子黒板 ■iPad(ロイロ <i>)</i> □実物投影機 ■デジタル教:		ーム) ■AppleTV	
	□デジタルコンテンツ(		その他( )	
本時のめあて	・色紙を使って二等辺三角形や』	E三角形をつくる	方法を考える。	
I CT機器の 活用場面	・二等辺三角形・正三角形の作成動画を撮影して、全体共有を行う。 ・ロイロノートを使って、正三角形を作成する動画に書き込みを行う。 ・児童同士の話し合いの際に、ipadの画面を見せ合ったり、カードを送り合う。 ・クラスルームを使って、児童の画面を電子黒板に簡易的に映したり、個々の進			
指導の流れ	捗状況を把握する。			
	<ul><li>② 二等辺三角形の作り方を全体</li><li>③ めあての確認</li></ul>	本確認する。	© © © ®	
	④ 正三角形ができる折り方を表	考える。	Fig. (5)	
	⑤ 正三角形ができる折り方を確認し、その理由を考える。			
	⑥ まとめ & ふり返り			
			ON VILSON	
指導上の 留意点	<ul><li>○クラスルームを活用して児童のた、活動が止まっている児童に</li><li>○動画に線を書き込む機能を日頃</li><li>○説明の時や問題の確認の際には認し、徹底をする。</li></ul>	こは、机間指導を 頁から行うことが	と通して声掛けを行う。 ぶ必要。	

学 校 名	浦添市立 牧港小学校	授 業 者	山城 有司
対象学年	6年	教 科 等	算数
単元名	提会才	を順序よく整理	
<u> </u>	■電子黒板 ■iPad(ロイロ)		
ICT環境	<ul><li>□実物投影機</li><li>■デジタル教利</li><li>□デジタルコンテンツ(</li></ul>		その他( )
本時のめあて	順序よく整理	埋して、並べ方:	を調べよう
I C T機器の 活用場面	3つの並び方が何通りあるのか考	える場面で、ロ	イロノートの思考ツールを活用
指導の流れ	1 本時の課題を知る。 電子黒板に教科書の挿絵を映 持たせる。 問題を映し、本時の課題を把 2 めあての確認		ジを
	「順序よく整理して、並べ方 3 個人学習 タブレットを操作して並び方 ※並び方を部屋分けしておく	を考える。	
	4 全体学習 電子黒板に数名の考えを映し 順序を固定しながら1つずつ 共通点を見つけ、樹形図のか 5 練習問題	並び方を調べて	iva The second
	3桁の数字を並び替えてでき ロイロノートの思考ツールを 6 まとめ	活用	
	「樹形図を使うことで、順序 7 応用問題 樹形図を活用し、並び方を調 ※ここではノートを使用し、	べることができ 樹形図を手書き	でさせる。 でさせる。
指導上の 留意点	・iPad は、思考ツールや発表の道。 ・iPad を使用しない場合は閉じさ		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

学 校 名	浦添市立仲西小学校	授 業 者	當間 光	
			算数科	
対象学年	第5学年	教 科 等	総合的な学習の時間	
単元名	「プログラムを考えて図	図形をかこう!」		
I CT環境	   ■ <mark>電</mark> 子黒板 ■iPad(ロイロ <i>)</i>		1 777	
I U I 環境	<ul><li>■</li><li>■</li><li>車 丁無板</li><li>■</li><li>■</li><li>■</li><li>■</li><li>□</li><li>戸びタル教</li></ul>		ppleTV	
	■ $rac{1}{rac}}}}}}} } } } } } } } } } } } } } } } $		)他 (	
			) 	
本時のめあて	図形の特徴をもとに、作図のプロ	1グラムを考えよ	う。	
, 15 15 15 15		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
	・児童用端末にてスクラッチを開	<b>引き、プログラム</b>	の作成を行う。	
ICT機器の	・ロイロノートの提出箱に完成し	た図形のスクリ	ーンショットを送る。	
活用場面	・電子黒板やロイロノートを使っ	って、考案したプ	゜ログラムや図形を交流し合う。	
	・友達のアイディアを受けて、さ	らにプログラム	を改良する。	
	① 図形の特徴を確認する(正三		;)	
指導の流れ	正三角形・3辺の長さがす			
	・内角の和が18		)角は60°	
	正四角形 ・3辺の長さがす		h	
			角は90°(直角)	
	② スクラッチの使い方を確認す	-	VEL 4T 그는 것	
	1. クラウド版のスクラッチ	· · · =	選択する	
	2. 「ペン機能」をオプショ 3. 「緑の旗がおされたとき		1/ 1 プロガラムをかく	
		_	、線を引けるようにする	
	③ 図形のプログラムをかく			
	<ol> <li>1.10歩を10cmとしたら100cmはどうしたらよいか</li> </ol>			
	2. 一辺が100cmの正三角形をかくにはどうしたらよいか			
	3. 一辺が200cmの正匹	3角形をかくには	どうしたらよいか	
	※ 試行錯誤させる。完成し	た児童が他の児	童に教え合う。	
	④ 様々なプログラムを紹介する	ò.		
	・繰り返し機能をプログラム	いに取り入れたも	O	
	・ペンの色を変えたもの など			
	⑤ かきたい図形を作図するプロ	グラムに挑戦す	る。	
		1		
	5			
	O活動が止まっている児童には声	「たかけ ヘモギ	きを解消する	
指導上の	O児童から出た様々なアイディア			
留意点	高めていく(トライアンドエラ		·	
E /W/M	<ul><li>○説明や問題解決の際には iPad を</li></ul>		, -, -	
		- F44 C D C Y 7/6	/ C	

学 校 名	浦城小学校	授業者	後眞地 祐太
対象学年	3 年	教 科 等	理科
単 元 名	ГВ	月かりをつけよう	J
ICT環境	<ul><li>□電子黒板</li><li>□iPad (</li><li>□実物投影機</li><li>□デジタルコンテンツ (</li></ul>		AppleTV その他( )
本時のめあて	豆電球と回路を使って、身のまれ 通さない物とに分けて、結果を言		
ICT機器の 活用場面	予想と結果の考察において、明か シンキングツールで分けた。また		
指導の流れ	<ol> <li>学習課題を確認する。</li> <li>めあて 電気を通する</li> <li>身近な物で、どんな物が電気 ールで予想を提出させる。予</li> </ol>	を通すか予想し	、ロイロノートのシンキングツ
	<ul><li>シンキングツールで明かり のつきそうなもの・つかな そうなものを左右に分け た。</li><li>3 班ごとに実験を行う。</li><li>4 実験の片付けをする。</li></ul>	結果 つかなかった	(37) (37) (37) (37) (37) (37) (37) (37)
	5 電気を通した物と通さなかっ 共有する。缶の塗料が付着し 結果は提出させ、全員結果が ほとんど同じであることを確 かめた。缶については意見が 割れたため、全体でその理由 を考えた。 6 実験の結果から、電気を通す	ている箇所・ない (8) NAME ADDRESS - 12	ハ箇所での違いについて考える。
指導上の 留意点	学級全員が全ての材料を用いて単せた。また、実験を行う前に導線		

学校名	浦添市立沢岻小学校	授	業	者	知念 誠
対象学年	5年	数	科	等	理科
\1 \2 \1	0+	37	11-1	•	在門
単 元 名	「物のとけ方」				
		_	• • •		_ , , _, ,
ICT環境	■電子黒板 ■iPad (Teams □実物投影機 ロデジタル教表		(cel)		■Apple I V
	□デジタルコンテンツ(	—		) [	コその他(
	〇ものがとける量について、観察			どを行	い、得られた結果を基に考察し、
本時のめあて	表現するなどして問題を解決し	てい	る。		
	OT	E仝女士F	<u> </u>		ウハのグループト会体の幼田を
ICT機器の 活用場面	O Teams C Excel を沿用して美   考察する。	海央が古え	ドセナ	も付し	、自分のグループと全体の結果を
727.532	【導入】				
指導の流れ	①前時までの学習を振り返り、本				
	②グループでの計画を基に実験を				
	③全体で結果を共有【ICT の活用 ※結果は、グループでタブレット	_			:xcei ループの結果を集約した表やグラ
	フが見られるようにする。	(00)	()(	<b></b>	
				-21	
				1877	100 mm
					and Samuel Control of the Control of
			b	3	
					<u> </u>
	【展開】				
	③共有した結果から水の温度を」	上げる	と溶	ける	量はどうなったのかグループで考
	察する。				
	【ICT機器の効果的な活用】				
		を共	有する	ること	で、たくさんのデータを基に考察
	できる。	ω <del>=</del>	_ 口	た甘に	: 考察するので、自分達の実験の妥
					でしての共通性を確かめることが
	できた。	( )		C 20 1.	
	O前時に Teams · Event の活田	カルキ	たど	। হহে	まかグラフの日方な学習した
指導上の	O前時に Teams・Excel の活用の O考察での話合いは2人1台でタ		_		、表やクラブの見力を学習した。  し、ペア→グループ→全体と話合
留意点	いを広げていった。			,	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

学 校 名	浦添市立沢岻小学校	指導	者	知念 誠
対象学年	6年	教 科	等	理科
単 元 名	「地球に生きる」			
ICT環境	□電子黒板 ■iPad(ロイロ □実物投影機 ロデジタル教 □デジタルコンテンツ(			AppleTV ]その他( )
本時のめあて	○沖縄の環境について調べ、自分	かたちがで	きるこ	とを考えよう。
ICT機器の 活用場面	〇オンライン授業期間の学習のま ロイロノートにまとめて作成。	まとめとし	て、調	べたことを整理して自分の考えを
指導の流れ	〇オンライン授業期間の単元のまとめをロイロノートで整理し自分の考えをまとめる学習をしました。         ①資料「おきなわの環境」をロイロノートで配布。			
	を	・ 神郷の海 ・ 神楽 ・ 神	神縄 が泣いて かっかい かんり かんり でいます かいようにゴミネ ないようにゴミネ ないようにゴミネ ないようにゴミネ ないようにゴミネ ないようにゴミネ ないようにゴミネ はいまうにゴミネ ないようにゴミネ ないようにゴミネ ないようにゴミネ はいまうにゴミネ ないようにゴミネ ないようにブラック はんきん ないまかん かんりゅう かんり かんりゅう かんり かんり かんりゅう かんり	がありや原信号 からりやに流れ込み機をもにごらせかり、海底にできて清土場としい、汚なによれ、川や海の注 もいを領を与える。また、海梁や観光第に大さな被害 する。 を食べるピトデ が関えています。増え している可能性があ のにしたり、残ったものは新徹底にすわしたり、 数って持うとさに水や泥形の無駄道いを防ぐことが た前を無駄にするだけでなく、川や海を汚し には使用風の目安を記載しています。そのよ がつて使うとよいと思います。 を飛ばさない を片付ける。 かがレイアウト】  で、書くことが苦手な児童でも友
指導上の 留意点	<ul><li>○普段からロイロノートを活用しく学習することができた。</li><li>○教師自身がレイアウトを作成し童でも参考にしながら仕上げる</li></ul>	/見本とし	て提示	とで、オンライン授業でも抵抗なすることで、書く内容が苦手な児

学 校 名	当山小学校	授業者	大城 康一
対象学年	3 年	教 科 等	体育
単 元 名		プレルボール	
ICT環境	<ul><li>□電子黒板</li><li>□iPad (ロイ</li><li>□実物投影機</li><li>□デジタルコンテンツ (</li></ul>		
本時のめあて	・チームで作戦を工夫してゲーム	ムを楽しもう	
ICT機器の 活用場面	①互いの動きを見合うカメラと ②ふりかえりの確認と、作戦を		<b>、として・・ロイロノート</b>
指導の流れ	。 ・各チーム計画的に練習を進める。 る。 (チーム内 3 人×3 人)。 ○ ○ 合。	自分たちに必要なスキルを うよう助言する。。 パワーアップタイムで練習・ とやで作戦にさせる。。 全体共有の場面を作る。。 がよのでの作戦を振り返っ でしたのであり返っ	話し 。
指導上の 留意点	・ なたちと協力して用具の片付 ・ なたちと協力して用具の片付 ・ はを行う。 。 ・ ロイロノートの作戦ボードを を確認・実践する ・ 体育でタブレットを使用する が必須である		1

	<u> </u>	T		
W 1+ F			T1 石川 肇	
学校名	浦添市立 前田小学校	指導者	T2 屋比久 恵吏	
対象学年	2年生	】 数 科 等	図工.	
単 元 名	「ふしぎなたまご」			
ICT環境	☑電子黒板 ☑iPad(	) 🗸	AppleTV	
	<ul><li>□実物投影機</li><li>□デジタルカ</li><li>□デジタルコンテンツ (</li></ul>		その仲(ビスケット)	
	1 校時 工夫してたまごのいろを			
本時のめあて	2校時 タップしてたまごをふた			
40000000 C	iPad を用いてふしぎなたまごの約			
I CT機器の	タップしてたまごが孵化するプロ			
活用場面	たまごに動きをつけて、たまごん			
, . , . , <u> </u>				
	1時間目			
指導の流れ	1. 動画を視聴してプログラミン	/グを学ぶ意欲を	高める。	
	2. LINE スタンプを紹介して、	iPad で絵を描く	意欲を高める。	
	3. 中から生まれてくる物を想像	象しながら卵を描	首く	
	4. 中から生まれてくる物を描く	<b>\</b>		
	2時間目			
	1. プログラミングツールのメラ	ガネを用いて、タ	ップしたらたまごから中身が生	
	まれてくるプログラムを作成する	5.		
	2. タップすると逆に卵に戻って	てしまう画面を見	しせ、プログラムを考えさせる。	
	3. たまごに動きをつけ、卵孵化	ヒゲームを作る。		
	4. 友達のゲームをプレイしてみ			
	5. 卵の動く速さを変化させるこ	プログラムを考え	こさせる。	
	6. まとめ、ふりかえり			
			2 19 0	
	どうメガネを使ったら良いのかた	でかかか気づけが	い児童も一定数いるので、お友	
 指導上の	達が教えにいく雰囲気をつくる。	ェル~・エル*×V゚ノリ/d	KYJU里O	
留意点	達か教えにいく雰囲気をつくる。 クレヨンで描いた「ふしぎなたまご」はどうだったか、図工の時間のふり返りを			
田心川	促す。	, = , 16 = / / = /	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	, , ,			

学 校 名	浦添市立沢岻小学校	指導者	知念 誠		
対象学年	5年	教 科 等	社会 • 国語		
机象子牛	国語「きいて、きいて、きいてみ				
単元名	社会「自然条件と人々のくらし」		J		
	_				
ICT環境	□電子黒板 ■iPad(Page	s) 🗆 🗆 Apple	eTV		
	┃ ┃ □実物投影機   ロデジタル教:	科書			
	ロデジタルコンテンツ(		]その他( )		
	国語→目的や意図に応じて話の内	宮容を捉え、イン	タビューしたり、報告し合ったり		
本時のめあて	する。報告文を Pages で	まとめる。			
		が関心をもった」	地域の気候や地形の特色をまとめ		
	る。	ヨのキトカトレフ	Dagge のフプリを活用してまた		
I C T機器の 活用場面	めた。		Pages のアプリを活用してまと		
11c \ 20 c	【国語】「きいて、きいて、きい				
指導の流れ		「話し手」「記録	録者」を交代しながらインタビュ   		
	ーをする。 ②インタビューで記録したことを報告文でまとめる。				
			0.		
	【社会】「自然条件と人々のくら	5 <i>U</i> J			
	①オンライン授業期間だったので	で、Pages を活用	目して学習のまとめをした。		
		,て調べることで	、よりくわしくまとめることがで		
	きた。				
	インタビューした人の名前	長野	學 野辺山原		
	越し手(富関つばさ)関連者 (銘苅徳乃)   記録者(西内満乃)	Mar.	3地での自然条件に合わせて		
	MLF (前期つほぎ) インタビュー				
	たです。 これからも、 他を選択力たいで した人の	7	WIND ALM		
	顔写真		は、2. 対策の心を応 は、2. 対策の心を応 のでは、からのです。 できないのです。		
	音説、つばさきんが他に報告って 語っていることが分かったので、 これからも、数を提展してださ	白菜など)を他の地域では生産し	ため、落さに前い現物の貯蔵(レタス、 にくい夏の時期に、出席することができ 出来した大学の貯蔵		
	これからも、愛を確認力でくださ これから、「つばささんと称」について発見します。 つばささんは、中学交換をするために今年の4月から称に 適っています。	野辺山原 の 酪農物	は前日間がよく見え 電水 ☆ に小中の利用に関しています。今長を加工し		
	器は、被覆が多いので大変です。他強制関は2時間でらいです。 つばきさんは、他に適っているおかげで、宿園が早くでき		品は、他の物面作列にも出資され、野売山 まれています。		
	記録者 (病内諸乃)  がばさまんが、うちで順復っている様子がインタビューで  がはさまんが、しゅかり回復をも  分かりました。これからも、他を研究ってください。	酪鹿がさかんなため、牧場での	体験や夏の加しい気候を求めて他の場成か また、森和でのトレーニングにはままざ の情報としてもごうかいます。 ※前者でのレーニングにはうまざ ※前者では少しかた ※前者では少しかた		
	T. EPOKANGZEMBA PERL AZORGANGAN IMBOTOKON				
	【国語】				
	★Pages のよさ★				
	〇レイアウトがしっかりできているので、写真が挿入しやすく、学級全体で型を統 一することができました				
指導上の		がいろいろ場面(	係活動用紙・学級新聞等)で活用		
留意点	するようになった。				

学校名	浦添市立沢岻小学校	指道	事者	知念 誠
J K L	XI C. G. 500 // 177 11/1/W.EU	10 ,	<del>-</del> -	אינו יפינטי
対象学年	5年	教和	等	国語、理科、外国語、音楽
単元名				
ICT環境	<ul><li>□電子黒板</li><li>■iPad (マチア)</li><li>□実物投影機</li><li>□デジタル教科</li></ul>	書		
本時のめあて	ロデジタルコンテンツ( 〇コロナ禍でできない授業参観を			その他( )
I C T機器の	〇学校での学習の様子を写真や重			
活用場面				
指導の流れ	<ul> <li>【マチアルキ作成までの流れ】</li> <li>①普段の学習の様子を iPad で撮影して写真や動画として保存する。</li> <li>②iMovie で編集【10分以内位】</li> <li>③マチアルキで配信</li> </ul>			
	全しで動きを表現して、 全学級の iPad でマチアルキの活る。	強通信の- ルてマチ 加画が見ぬ 用の仕が	一部を画 アルキア られる【 うを学習	像(QR コードみたいなもの) プリのカメラで読み込むこと うになる。 スマホ・タブレットでも可能】 して、家庭でも見られるようにす 伝えることで、学級全体の様子を
指導上の 留意点	OiMovie の使い方を児童に指導 成、編集することができた。	すること	こで、1号	<b>学期後半から自分達で、動画を作</b>

学 校 名	浦添市立宮城小学校	授 業 者	長賀 千乃
対象学年	第6学年	教 科 等	特別活動
単 元 名	中学校へ、将来	に向けて~これが	からの生き方~
ICT環境	<ul><li>■電子黒板</li><li>■iPad (ロイロ / □実物投影機</li><li>□デジタル教え</li><li>□デジタルコンテンツ (</li></ul>	, ,	ppleTV その他( )
本時のめあて	中学校や将来へ向けて、今からで	できることを決め	よう
I C T機器の 活用場面	<ul><li>・事前アンケート</li><li>・新たな期待や不安をロイロノートに書く(さぐる)</li><li>・楽活に決めたことを写真に取り、ロイロノートに共有(決める)</li></ul>		
指導の流れ	1. <u>中学校生活に向けた期待と不安について話し合う。</u> ( <b>つかむ</b> ) ・事前に、アンケートをロイロノートで答えておく。 ・友達も期待や不安をもっていることに気付かせ、不安や悩みへの問題を解決していこうとする意欲を高める。		
	2. 小学校と中学校の生活や、勉強の違いについて話し合う。 (さぐる) ・小学校と中学校の生活や、勉強の違いについて、調べたことを出し合う。 ・新たな期待や不安なことを書く。 (ロイロノートで共有)		
	3. <u>中学校入学に向け、今からできることについて話し合う。</u> ( <b>見つける</b> ) ・「将来なりたい自分」に近付くために、どのような中学校生活を送りたいか、 今からどのようなことに頑張ればよいか考える。		
	4. 中学校や将来に向け、今から・具体的な目標を設定するように (楽活に決めたことをロイロノー	助言し、児童が	
指導上の 留意点	・各教科でも、iPad やロイロノー・iPad の使用する際の事前のルー		させておく。

学 校 名	浦添市立 港川小学校 授	業者	下地 勝大
対象学年	3年 教	科等	特別活動(1)
×3 & 3 +	0 1	11 0	1433111233 (17)
単 元 名	学級旗に書く言葉を決めよう		
	✓電子黒板 ✓iPad(ロイロノート	) □A	ppleTV
ICT環境	<ul><li>□実物投影機</li><li>□デジタル教科書</li><li>□デジタルコンテンツ (</li></ul>	)	その他( )
		<i>)</i> ⊔	
本時のめあて	運動会を盛り上げるために、学級旗に	書く言葉を	<b>とどうするか。</b>
ICT機器の	事前:アンケートを使い、書きたい単	> > > 1 + >	- 0
活用場面	本時:単語をまとめて文を作る際に、	テキストス	カードを送らせて電子黒板で共有
	しながら発表させる。 1 アンケート結果の確認		
指導の流れ	□ロイロノートのアンケートで集計	した結果を	と、電子黒板に映して確認する。
	□上位の言葉は黒板にも書いておく	•	ETHE PARTY NAMED IN
		1	10.2
	2 本時の議題、めあての確認		
	2 - A HOLD CONFERD		
	3 話し合い		The Park of the Pa
	「学級旗にどんな言葉を書くか」	∴N≠m ⊥L → ∀	×+ 1-7
	①自分が選んだ単語の良さや、選ん ②互いの意見や理由を比べながら、		,
	③いくつかの単語をつないでつくっ		- · · · ·
	□考えた言葉を、テキストカート		, , , . , , . , . ,
	④出ている意見から選んだり組み合わせたりしながら、合意形成を図る。		
	□シンキングツールを用いて分類し、比較する手立てにする。		
	4 ふり返り		
	ロマントートラア山と単年ナートート	J. 101=1	マ旧立に ギュントマー 単何 株に
指導上の	□アンケートにて出た単語をテキスト 書く言葉を組み立てやすくする。	ルートにし	ノC児里に达ることで、子椒 <b></b> 属に 
留意点	□考えた言葉を入力する時以外はタフ	レットを閉	月じておき、話し合いへの参加が
	おろそかにならないよう指導する。		
	□一つの意見に対して賛成・反対意見	が集中して	こいる時など、必要に応じて教師
	が話し合いを整理しながら進める。		

学 校 名	浦添小学校	授業者	野原 彩綾
対象学年	4年	教 科 等	特別活動
単元名	ピオ	コピカそうじ大作	戦
ICT環境	<ul><li>■電子黒板</li><li>■iPad (ロイロ)</li><li>□実物投影機</li><li>□デジタルコンテンツ (</li></ul>	科書	
本時のめあて	<ul><li>そうじのよさを見つけて、自分</li></ul>	}にできることを	決めよう。
I C T機器の 活用場面	・清掃の大切さに気づき,取り組 場面でロイロノートを使用。	且んでいきたいこ	とを意思決定し,情報共有する
指導の流れ	が必要な部分に気付く。  2. <u>めあての確認。</u> そうじのよさを見つけて,自  3. 掃除をするときの気持ちをき  4. これから,どのような気持ちでき する。 楽しい学校生活や動画で掃除 意志決定したことをロイロノ  5. 学習を振り返る。 ・お友達の考え も見てみよう。  12/15ビカビカモラじ大作戦 なったい自分に (まつたい自分に (まつたい自分に なったいところも見えるところも、しっ かり丁寧に掃除する いろんな人が見て、きれいだな、清潔だなと思います なと思るようにする。 時間内にきれいにできるようにする。	ケートに答えて ついて振り返り 分にできること うえて話し合う。 って、どのように から学ぶ ートで共有。  12/15 ビルビカをラじた (そうし時間に乗りすること) ・	おく。 , 出来でいる部分と, まだ努力  を決めよう。  は掃除をしていくのか意思決定を  は かりたい自分に なりたい自分に なりたい自分に なりたい自分に なったのに 自分のあまて (そうじた)に対し、またけること)  時間内に掃除を終わらせること。
指導上の 留意点	・日常的に各教科でも、タブレッ・話を聞く時は、Ipadを操作したけさせておく。		

学 校 名	浦添市立 前田小学校 授業	者 石川 肇		
	to the same of the	ANTE CITY OF		
対象学年	知的たんぽぽ学級(145年) 教 科	<b>等</b> 性活単元		
   単 元 名	   みんなで美ら海水族館をつくろう			
+ /0   0		□AppleTV		
ICT環境	□実物投影機 □デジタル教科書			
	□デジタルコンテンツ( )☑その他(	プロジェクター )		
本時のめあて	みんなで協力して、美ら海水族館をつくるこ			
   ICT機器の	iPad を活用して、個人で魚を描き、動きをつみんなの描いた魚を画面合成で一気に泳がも	-		
「日本語の	発表する。			
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	1. 動画を観てプログラミングを学ぶ動機作	けけをする。		
指導の流れ	2. iPad を使って、魚を描き、プログラミン	·		
	す。			
	3. プロジェクタに映し出された合成画面で	で、どの魚を自分が描いたのか発表す		
	る。 4. 多様性(いろんな魚がいて素敵)の話を	こして 1m日しけ浩るギザノンの名		
	4. 多様性(いつんな魚がいて茶飯)の品を を描き、泳がせる。	として、1四日とは達りたりインの点		
	5. 2匹目の魚を発表する。			
	6. 魚をジグザグに動かす方法を伝え、3 🛭	匹目の魚を描かせる。		
	7. 3匹目に描いた魚(ジグザグに動く)を	と発表する。		
	8. まとめ・ふり返り			
		For company of the co		
		Particular and the state of the		
	事事			
	魚をデザインできない児童のために、ダンス	デールで作った色の石延む田辛ナフ		
   指導上の		トールCTFつに黒の百畝を用息する。 		
留意点	多様な種類の魚が描けるよう、魚の印刷され	ιた下敷きや絵本を用意する。		
	本時以前に「多様性の良さ」について触れて	Cおく(ESD の視点)		

学校名	浦添市立 前田小学校 <b>指導者</b> 石川 肇		
対象学年	1、3、4、5年 <b>教科等</b> 生活単元		
単 元 名	ミニトマトの収穫をプログラミングしよう!		
ICT環境	<ul><li>□電子黒板</li></ul>		
本時のめあて	プログラミングツールを用いてミツバチを動かし、受粉や収穫を表現することができる。		
I CT機器の 活用場面	生活単元におえるヒカンザクラの観察やミニトマトの栽培を、ロイロノートを用いてふり返る。 ビスケットを用いてヒカンザクラの受粉やミニトマトの収穫を表現する。		
指導の流れ	ロイロノートのカードを用いて、ヒカンザクラの観察をふり返る。実のなる種類のサクラ(セイヨウミザクラ)等も紹介し、サクラの花の色の違いを確認。 ビスケットでミツバチを動かす、ミツバチが花に触れると実ができる、実をタッ プすると収穫できる…というプログラムを組み、実際にテレビ画面でもプログラミングしてもらう。		
	ロイロノートのカードを用いて、ミニトマトの栽培活動をふり返り、熟していない緑色の実には毒のあることなどを知る。 ビスケットでミニトマトの受粉、青い実から赤い実への変化、赤い実の収穫を表現する。		
	ふり返りの発表。 自由に自分で描いた絵を動かす活動を行う。		
指導上の 留意点	発達段階の違いが大きいので、今までの生活単元学習のふり返りの内容理解が難しい児童がいた。また、提示用の教師の iPad がカメラ(QR コード読み取り)、ロイロノート(資料提示)、ビスケットと、3つのアプリを動かしながら HDMIケーブルで接続していたためか、ビスケットの操作が安定しなかった。		

### R3 ICT 活用実践事例

### 沖縄県浦添市

学 校 名	神森小学校	授業者	T1 渡口 政尚 T2 栄養士
対象学年	第3・4・6学年	教 科 等	自立活動
単 元 名	好き嫌いなく食べよう ~黄・カ	京・緑の働きを知	ろう~
ICT環境	<ul><li>□電子黒板 □iPad ( ) □AppleTV</li><li>□実物投影機 □デジタル教科書</li><li>□デジタルコンテンツ ( ) □その他 (パソコン TV )</li></ul>		
本時のめあて	食事バランスのバランスについて	ご考えよう	
I CT機器の 活用場面	<ul><li>・パワーポイントを使って栄養素の役割を理解する</li><li>・ロイロノートを使ってメニューを作成</li></ul>		
指導の流れ	①前時の振り返り ・前時で作った自分のメニューを る。		活用して提示し、振りかえさせ
	<b>②めあて</b>		
	③栄養士の話 ○栄養士さんから献立を考えるといて聞く。 ○前時で作ったメニューを振り追いことに気付かせる。 ○黄、赤、緑3つのグループをそさえる。	図り、食事の組み	合わせは、健康との関わりが深
	④メニュー作り ○教師のメニューを全体で見直し ○黄、赤、緑の栄養バランスや- ○第1時と第2時のメニューを推	一食の量について	考えながら作らせる。
	⑤まとめ ○ワークシート に分かったことや 欲を持たせる	⊃頑張り たいこと	を具体的に書かせ、実践への意
指導上の 留意点	○日常的にタブレットやロイロノ	'一トの使用し、	ICT について慣れさせておく

学校名	港川中学校	授	業	者	喜納豪士
対象学年	中学3年	教	科	等	社会
単 元 名	第2章 個人の尊厳と 第2節 人権と共生社 6 「公共の福祉	生会			务
ICT環境	<ul><li>電子黒板 □iPad (</li><li>□実物投影機 □デジタル教</li><li>□デジタルコンテンツ (</li></ul>	_	)		AppleTV この他()
本時のめあて	私たちは憲法上、どのような責任	£と義務			
I CT機器の 活用場面	紙媒体を使わずに学習用端末のみ ・資料提示 ・意見発表 ・携				<u>:</u> 9
指導の流れ	①【資料提示】【話し合い】資料1を提示し、それぞれのイラストについて、誰のどのような人権同士が対立しているか、考えさせる。 ②【発問】人権同士の対立の解消法について問う。「資料①のように人権同士が対立した場合、どのように解決すれば良いのだろう。」 ◆「公共の福祉」とは				
	③【資料提示】【説明】資料2を提示し、日本国憲法の公共の福祉の考え方を説明する。 ④【説明】【作業】資料1のそれぞれのイラストが資料3のどれに当てはまるか				
	を説明し、整理させる。 <u>◆人権の制限が許される場合</u> ⑤【作業】本文を参考に、国が一方的に判断して本の発行を禁止することができ				
	るようになると、どのようなことが起こるかを考えさせる。 ⑥【説明】公共の福祉によって人権を制限する場合は当事者への配慮が重要であること、また、同じ自由権でも経済活動の自由と精神の自由とでは制限の程度が異なることを説明する。 ◆国民の義務				
	<ul><li>⑦【作業】国民の三大義務に関す探させ、整理させる。</li><li>⑧まとめ・振り返り</li></ul>	☆る規分	₹	教科書	の参考法令集の日本国憲法から
指導上の 留意点	◆本時の学習を振り返る。 教師の説明時間を短くし、生徒がる。	ぶ意見る	で換え	をした	り、考えたりする時間を確保す

学 校 名	浦添中学校 授業者 嶺井 政仁		
対 象 学 年	1 学年 教科等 理科		
単 元 名	光と音		
ICT環境	<ul><li>□電子黒板 □iPad ( ) □AppleTV</li><li>□実物投影機 □デジタル教科書</li><li>□デジタルコンテンツ ( ) □その他 ( )</li></ul>		
本時のめあて	振動している物体から出ている音は、何によって伝わるのだろうか。		
ICT機器の	導入:振動の様子を動画で共有		
活用場面	発表:考察を全体で共有		
	提出物:振り返りの提出課題管理		
指導の流れ	<ul><li>①導入 【既習事項の確認】</li><li>(7分) (演示) ・ストロー笛 (動画スロー再生) →音源はゆれることで音が発生する。</li><li>・糸電話→糸がゆれることで音が伝わる。</li><li>※「音源」と「振動」の言葉を説明。</li><li>・2つの音叉</li></ul>		
	おんさに糸をつなげ、教室の端から端へ音を伝える。 【問題把握】  ○2つの音叉(糸なし) 「糸がないのに音が伝わるのはなぜ?」 (生徒)「空気があるから。」 「空気が振動しているから。」  めあて 「振動している物体から出ている音は、何によって伝わるのだろうか。」		
	②展開 (10分) 【予想】  生徒「空気(声が聞こえているから)。 ガラス(大きな音が鳴った時震えていたから)。 金属。」 【実験】 (空気がない状態で音は伝わるのか) 1,おんさ間に板を置く		
	2,真空状態 3,水の中 (5分)【結果】 (20分)【考察】それぞれの実験で結果からわかることをロイロノートで整理 (音について観察から気づいたことを出させる) 班ごとの発表用ホワイトボードに記入 ※考察の型 ~と予想した。 ~という結果から 「音は ~ ように伝わる」と考えられる。 (5分) 【演示】 ○水の振動 →音は波のように伝わる		
	③まとめ 音は(糸だけでなく、金属や水、空気など様々な物体を振動させることで波として)伝わる。 (10分) 【振り返り】 授業を通して 「!分かったこと ?疑問に思ったこと ☆できるようになったこと」		
指導上の 留意点	○指示があるまではタブレット端末は閉じて寝かしておくよう普段の授業から 指導しておく。 ○振動の様子は時間の関係上前もってとっておく。		

学校名	神森中学校	指導者	南武志
対象学年	中2	教 科 等	理科
単 元 名	電気の世界		
ICT環境	<ul><li>■電子黒板</li><li>■iPad (</li><li>□実物投影機</li><li>■デジタル教利</li><li>□デジタルコンテンツ (</li></ul>	斗書	AppleTV の他 ( Numbers )
本時のめあて	電熱線の発熱と電力の関係がわか	<b>1</b> 3	
I C T機器の 活用場面	実験においてNumbersシートにデ	ータ入力を行い、	グラフを作成し、近似直線を引く
	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	作成 タ入力範囲 ごとの温度変化算出(自動) フ作成用に変換(自動) フ(自動生成) ことの温度上昇を1 ラフエリアに自動 に、近似直線を引	したシート  Numbersシートに入力する。  h的に数値がプロットされ、データ
指導上 の 留意点	・グラフを作成するための手順を 要。 ・Numbersシートを事前に作成する		に事前に把握させておくことが重 ∵いように工夫する。

学校名	浦添市立 神森中学校 <b>授業者</b> 宮城 尚久
対象学年	中学2年
単元名	鑑賞
ICT環境	<ul><li>✓電子黒板</li><li>✓iPad (</li><li>✓AppleTV</li><li>□実物投影機</li><li>□デジタル教科書</li></ul>
	□デジタルコンテンツ ( ) □その他 ( )
本時のめあて	・絵画を鑑賞して、感じたことを元に物語を作ろう。
	○iPad→コロナ禍の現状での話し合い活動の充実を図る為。
ICT機器の	○ロイロノート→鑑賞して感じたことをテキストで描き込む。テキストをグルー
活用場面	プ間送信する。鑑賞のまとめを提出する ○電子黒板→各グループで話あった内容を全体に提示する。
	〇电丁
	1. 生徒のロイロノートに【ワンドリューYS の作品:クリスティーナの世界】
指導の流れ	を配布する。
	2. 個人活動
	【クリスティーナの世界】の絵画から感じ取れることを【いつ・どこで・だれが ・なにをしているか】の視点でテキストに書き込み、X チャートに分類分けする。
	3. グループ活動
	・個人で分類したテキストをグループの代表に集約する。
	・グループで出た【いつ・どこで・だれが・なにをしているか】のテキストの内
	容を皆で話し合い、【クリスティーナの世界】への物語を膨らませる。 ・集約した内容まとめ PMI シートに物語を作っていく。
	4. 各グループで感じた【クリスティーナの世界】の物語を発表し合う。
	<ul><li>5. まとめ</li></ul>
	本授業で感じたことをまとめ、ロイロノートに提出する。
11-34-	・作品【クリスティーナの世界】や作者の【アンドリューYS】への情報は伝えず。
指導上の 留意点	自分自身が感じたままに感想を書けるように促す。 ・ロイロノートでのテキストの書き込みが不十分の生徒へのフォローを行う。
一日忌从	・ロイロノートでのテキストの書き込みが不干分の生徒へのフォローを行う。 ・お互いの感想を受け入れる授業雰囲気を作る。

	<b>仲</b> 西 中 学 拉	122 *** **	<i>y</i> th ★ #¥ +
学校名	仲西中学校	授業者	沖本 群太
対象学年	1 学年	教 科 等	総合
単 元 名			
ICT環境	<ul><li>☑ 電子黒板 ☑ iPad (</li><li>□実物投影機 □デジタル教和</li><li>□デジタルコンテンツ (</li></ul>	書	☑ AppleTV その他( )
本時のめあて	いろいろな職業を調べてみよう		
I CT機器の 活用場面	Forms を使ったアンケート クラスルームで生徒の活動の把 スクールワークで課題の一斉回 時計でタイムマネジメント	-	
指導の流れ	① Forms を使い生徒の職業観	・勤労観のアン	ケートを取る。
	② アンケート結果のグラフデータを電子黒板で表示し、クラスの職業観・勤 労観の現状を皆で確認する。		
	③ 調べ学習で使うサイト「13歳のハローワーク」の説明を行う。		
	④ クラスルームのナビゲート機能を活用し、生徒を「13 歳のハローワーク」 に誘導する。		
	⑤ 生徒が気になる職業について調べさせ、ワークシートに記入させる。		
	⑥ スクールワークでワークシートを提出させ、調べた内容を発表させる。		
	⑦ 他の生徒の発表を聞き、気づいた事や感じた事を振り返りシートに記入させる。振り返りシートは、スクールワークで提出させる。		
	⑧ スクールワークで回収した	振り返りを電子	黒板に表示し、発表させる。
指導上の 留意点	<ul> <li>事前に Forms でアンケートを作 ておく。Forms ではアンケート結果</li> <li>・電子黒板に生徒の注目を集めるで</li> <li>・事前に Safari のブックマークに端末をそのサイトにナビゲートす</li> </ul>	果が自動的にグ ために、クラス。 サイトを登録し	ラフ化される。 ルームで生徒端末をロックする。
	・時計アプリをマルチタスクで使	用し、タイマー	・を表示する。

学 校 名	神森中学校	指導者	南武志
対 象 学 年	全学年	教 科 等	全教科
単 元 名	ロイロノートを用いた提出物管	理	
ICT環境	<ul><li>□電子黒板 ■iPad ( ) □AppleTV</li><li>□実物投影機 □デジタル教科書</li><li>□デジタルコンテンツ ( ) ■その他 ( ロイロノート )</li></ul>		
本時のめあて	ノートの提出や、毎時間の振り返	<b>返りをロイロノ</b>	ートで管理する。
I C T機器の 活用場面	ロイロノートの提出箱を用いて、生徒の日々の提出物を管理、評価、フィードバックを行う		
	活用例1.振り返りシートの管理 ロイロノートのテキストカートシートを作成し、毎時間提出させ・主体的に学習に臨む態度の評価活用 ・生徒の質問などにコメントをすることで理解を深める 活用例2.ノート提出 ロイロノートの写真カードでノとり、提出させる ・定期試験後のノート回収不要・未提出者がわかりやすい・評価して返却することで生徒バックが容易	る。 西項目として 書き込み返却 一トの写真を	12月 24日 めあて:磁界中の電流が受ける力についてわかる 振り返り:磁石の磁界の中でコイルの受ける力は電流と関係 があることが分かったしフレミングの左手の法則も知ることができ。 自己評価 A B C 評価 B C
指導上の 留意点	・振り返りシートを事前に作成し・写真を撮らせて提出させる際は		を撮るかをしっかりと指示する。